

情報・システム研究機構教育研究評議会（平成30年度第1回）議事要旨

日 時：平成30年6月20日（水）15：30～17：40

場 所：TKP ガーデンシティ竹橋 7階 ホール7E

出席者：岡田清孝評議員、栗原考次評議員、徳田英幸評議員、鳥海光弘評議員、
BENTON Caroline Fern 評議員、安成哲三評議員、藤井良一評議員（議長）、津田
敏隆評議員、樋口知之評議員、桂勲評議員、小池良高評議員、中村卓司評議員、喜
連川優評議員、藤山秋佐夫評議員、相澤彰子評議員、伊藤聡評議員、城石俊彦評議
員

オブザーバー：鈴木監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

議事に先立ち、議長より、4号評議員として就任した相澤評議員の紹介があった。その後、
本会の成立要件の確認があった。また、情報研のオープンフォーラムの紹介があった。

議 事：

【審議事項】

（1）次期国立情報学研究所長候補者の推薦について

藤井議長より、資料1-1に基づき、選考に関する規則の説明の後、国立情報学研究所
運営会議の佐藤会長より、資料1-2～1-7（1-2～1-5は回収資料）に基づき、
選考の経過及び理由について説明があり、審議を踏まえ、藤井機構長が喜連川優氏を次期
国立情報学研究所所長にすることと決定した。

なお、藤井議長より、公表は役員会終了後の6月25日とする旨の説明があった。

（2）平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

津田評議員より、資料2-1～2-3に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会でも
審議の上、役員会にて審議することが了承された。

また、軽微な修正については、機構長一任とすることが併せて了承された。

<意見概要>

- URAを活用したことにより研究力や共同研究の成果は上がったのか。
→ 論文数の増加だけでなく、質の良い論文の生産率向上が見られる。

- URAについて3職位を設定しているが、URAの流動性の確保の観点から、
各大学等との関係性はどうなっているか。
→ 研究大学強化促進事業の採択機関が中心となって、研究大学コンソーシアムが

構成されたが、他機関においても能力認定制度を設けており、次のキャリアパスにつながる方向性はある程度合意されている。

(3) 平成31年度概算要求（機能強化経費等）について

小池評議員より、資料3-1～3-3に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会でも審議の上、役員会にて審議することが了承された。

また、軽微な修正については、機構長一任とすることが併せて了承された。

(4) 平成31年度概算要求（施設整備費等）について

小池評議員より、資料4に基づき説明があり、審議の結果、経営協議会でも審議の上、役員会にて審議することが了承された。

また、軽微な修正については、機構長一任とすることが併せて了承された。

【報告事項】

(1) 研究教育職員に係る人事異動について

藤井議長より、資料5に基づき報告があった。

(2) 共同研究及び大学院教育の実施について

各研究所長及び施設長より、資料6に基づき報告があった。

<意見概要>

- 連携大学院について、各大学との連携をリンクさせながら、学生を引っ張って来ないと、若手研究者の人材育成がなかなか進まないのではないか。
- 見識のあるIT企業が社員に博士号を取得させるように働きかけていただき、社会人学生を増やしたらよいのではないか。

(3) 平成29年度決算について

小池評議員より、資料7-1～7-6に基づき報告があった。

(4) 教育研究評議会評議員からの提言とその対応状況について

藤井議長より、資料8に基づき報告があった。

【その他】

(1) 研究環境基盤部会に係る報告について

藤井議長より、資料9に基づき報告があった。

<意見概要>

- 機構のあり方に関する議論について、文科省が現状の問題点をはっきりと説明すべきである。併せて、機構からも積極的に問いかけた方が良い。
- 少子化に伴う学生減による大学の経営面での問題と、日本の研究の将来性については、本来別に考えるべき問題である。研究を推進する過程で、さまざまな分野が融合したり、新しい分野の可能性が創造されたりすることを期待している。
- 1 機構になると、予算は削減されることであろう。日本のサイエンスの発展を考えるならば、4 機構の存続の方がよいのではないか。
→ ガバナンスの面から考えると、効率化して予算を減らすという傾向になってしまう。資金が厳しいからという理由のみで効率化するのはいかなるものかとは思ふ。また、数ではなく機能の議論であるなどの意見は出ている。機構も当事者として努力していく必要がある。

(2) 研究所活動状況報告 (国立極地研究所)

中村評議員より、資料 10 (机上配布) に基づき報告があった。

(次回の教育研究評議会の日程について)

- ・ 次回の教育研究評議会は、10月26日(金) 13:30から、情報・システム研究機構会議室にて開催の予定。

以上

《配付資料》

- ・ 前回議事要旨
- ・ 情報・システム研究機構が設置する大学共同利用機関の長の選考等に関する規則・
.....【資料 1 - 1】
- ・ 国立情報学研究所所長候補者の推薦について.....【資料 1 - 2】(回収資料)
- ・ 所長候補者選考報告書.....【資料 1 - 3】(回収資料)
- ・ 所長候補者履歴書.....【資料 1 - 4】(回収資料)
- ・ 研究業績等.....【資料 1 - 5】(回収資料)
- ・ 国立情報学研究所長の任期に関する規則.....【資料 1 - 6】
- ・ 国立情報学研究所長候補者の選考に関する申合せ.....【資料 1 - 7】
- ・ 平成 29 事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案).....【資料 2 - 1】
- ・ 「注目される事項」となり得る取り組み.....【資料 2 - 2】
- ・ 平成 29 事業年度に係る業務の実績報告書(説明資料).....【資料 2 - 3】
- ・ 平成 31 年度概算要求 機能強化の方向性に応じた重点支援について・・【資料 3 - 1】

- ・平成 31 年度概算要求 大規模学術フロンティア促進事業について・・・【資料 3 - 2】
- ・平成 31 年度概算要求 基盤的設備等整備分について・・・・・・・・・・【資料 3 - 3】
- ・平成 31 年度施設整備費概算要求について・・・・・・・・・・【資料 4】
- ・研究教育職員に係る人事異動について・・・・・・・・・・【資料 5】
- ・共同研究及び大学院教育の実施について・・・・・・・・・・【資料 6】
- ・平成 29 事業年度財務諸表（簡易版）・・・・・・・・・・【資料 7 - 1】
- ・平成 29 事業年度財務諸表・・・・・・・・・・【資料 7 - 2】
- ・平成 29 事業年度事業報告書・・・・・・・・・・【資料 7 - 3】
- ・平成 29 事業年度決算報告書・・・・・・・・・・【資料 7 - 4】
- ・独立監査人の監査報告書・・・・・・・・・・【資料 7 - 5】
- ・監査報告・・・・・・・・・・【資料 7 - 6】
- ・教育研究評議会評議員からの提言等とその対応状況等・・・・・・・・・・【資料 8】
- ・研究環境基盤部会関係資料・・・・・・・・・・【資料 9】
- ・研究所活動状況報告（国立極地研究所）・・・・・・・・・・【資料 10】